

33 カジカ

(カジカ科)

兵庫県ランク:C

Cottus pollux

環境省ランク:NT

種の概要

全長13cm程度。河川上流域の瀬の礫底に生息する。主に水生昆虫を食べる。繁殖期は2～6月で、雄が小さな岩下に産卵床を構え、複数の雌を呼び込んで岩の天井に産卵させる。孵化後の仔魚は、降海することなく底生生活に入り、一生を淡水で過ごす。日本固有種で本州、及び九州の北部に分布する。



写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館(撮影: 増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内の日本海側の河川には比較的広く生息する。一方で、瀬戸内海側では、生息が一部の水系の上流部に限定されている。淡路島では確認されていない。

保護上の留意点

生息場所、産卵場所として大型の礫あるいは小岩の下部に間隙がある浮石状態が保たれている必要がある。適度な出水を伴った、河川の土砂収支の回復に伴う河床構成礫の間隙の創出が根本的な課題である。また、堰などの河川横断工作物による生息地の分断も脅威になっていると考えられる。

県内分布

三田市、西脇市、多可町、姫路市、宍粟市、たつの市、神河町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

